

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際スポーツキャンプの招致・開催支援		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 芦立 訓	
会計区分	一般会計		施策名	XII-3 我が国の国際競技力の向上			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	今後、アジア地域においては、世界陸上競技選手権大会(2011年韓国)、ユニバーシアード競技大会(2011年中国、2015年韓国)、ユースオリンピック(2014年中国)等の大規模な国際競技大会が予定されている。これらの大会前に海外チームの事前合宿等が日本国内の国際的なスポーツキャンプ地において行われることは、地域の活性化、国際交流の推進のみならず、日本チームのレベルアップ等我が国の国際競技力の向上にとって重要である。このため、海外チームが競技の特性に応じた国内キャンプ地を選定しやすいよう、観光庁等と連携して情報の収集・分析を行い、国内キャンプ地の評価付きガイドを作成する。また、今後、アジア地域で増大する国際競技大会に合わせて、国内キャンプ地において、海外チームのスポーツキャンプを誘致促進し、我が国の国際競技力の向上につなげる。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	観光庁等と連携し、海外チームが国内キャンプ地を選定するための国内キャンプ地の評価付きガイドを作成するとともに、今後、アジア地域で増大する国際競技大会に合わせて、海外チームのスポーツキャンプを誘致促進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	—	—	—	10	52
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	—	—	10	52
	執行額	—	—	—	—	—	
	執行率(%)	—	—	—	—	—	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	アジア地域での国際競技大会に合わせて、国内キャンプ地における海外チームのスポーツキャンプを誘致促進し、我が国の国際競技力の向上につなげることが目的であり、定量的な指標にはなじまない。	成果実績					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	国内キャンプ地の評価付きガイドの作成	活動実績 (当初見込み)				— (1,000)	
単当たり コスト	評価付きガイドの作成1冊当たりのコスト(10,098円/1冊)	算出根拠	単当たりコスト=平成23年度国際スポーツキャンプの招致・開催支援予算額(10,098,000円)/評価付きガイドの作成数(1,000冊)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	外国旅費	6百万円	7百万円	新たに委託事業を実施			
	庁費	2百万円	0百万円				
	職員旅費	1百万円	1百万円				
	諸謝金	0.7百万円	0百万円				
	委員等旅費	0.3百万円	0百万円				
	スポーツ振興事業委託費	0百万円	44百万円				
	計	10百万円	52百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、昨年8月に文部科学省が策定した「スポーツ立国戦略」における、「国際競技大会の招致・開催支援、スポーツ・ツーリズムの促進」に資する事業である。 ・評価付きガイドの作成にあたり、現地調査のほか、有識者の意見等を聴取することで、スポーツキャンプの招致により効果的なガイドの作成を行う予定である。 ・計画的に予算執行ができるように、スケジュール管理を徹底する。 		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>定量的な成果目標は設定できないが、本事業は、執行面における課題がないことから、適切な事業と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. 文部科学省 10百万円

観光庁等と連携し、海外チームが国内キャンプ地を選定するための国内キャンプ地の評価付きガイドを作成するとともに、今後、アジア地域で増大する国際競技大会に合わせて、海外チームのスポーツキャンプを誘致促進する。

外国旅費	6百万円	} を含む
庁費	2百万円	
職員旅費	1百万円	
諸謝金	0.7百万円	
委員等旅費	0.3百万円	

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
外国旅費	スポーツキャンプ海外先進地視察	6			
庁費	ガイドブック作成、ガイドブック翻訳、 会場借料、会議費	2			
職員旅費	調査旅費	1			
その他	会議出席謝金、会議出席旅費	1			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)